

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 26
2020・10・6

1 連邦食料・農業省：厳しい気象条件とコロナの中で収穫感謝祭
ー全体的に満足できる収穫で農業者に感謝ー (2020・10・2)

連邦食料・農業大臣ユーリア クレックナーは、今年の収穫感謝祭において、食料により高い価値を評価し、そしてそれを生産した農業者に呼びかける。来る土曜日（10月3日）に開催される収穫感謝祭に際してクレックナー大臣は、全ての農業者とその仕事について感謝した。”農村に居住する農業者とその家族のために、今年は大変困難な年であった。

暑さ、乾燥、収穫量の損失、価格の不安定、コロナパンデミック（大流行病）。我々はいつも繰り返し意識すべきである。私たちのテーブルを食料が覆うまで、農業者が多くの時間、労働そして耐え抜く能力を必要とすることを。食料生産は自宅オフィスに居ては機能しない。そのため、私は重要な課題のため農業者の力に感謝を捧げる。我々に高品質な食物を、提供してくれることにお礼を述べたい。”

2020年の収穫は特別な特徴の中にあっただが、今もその中にある。一方、部分的には極端な天候条件：4月、5月の遅い寒さが被害をもたらした。春は乾燥しすぎであった。加えて8月初めの熱波は、果実とぶどうの日焼けを引き起こした。また、コロナパンデミックのための収穫は、大きく変化した条件の中で行われた。収穫と植え付け作業は、ポーランドなど外国人季節労働者のコロナ感染ー健康防護の厳しい条件下でのみ可能であった。穀物の収穫量は僅かに前の年を下回った。果実と野菜もまた、収穫量が例外なく少ないという結果だった。これに反して、バレイショの収穫量は平均以上となった。

ユーリア クレックナー:” 2020年の収穫は平均以下であったが、全体的には満足できるものであった。まさにコロナのために一時的に閉鎖された国境、そしてそれによって生じた労働力不足を勘案すれば、なお一層注目すべきことであった。コロナは我々の意識の中に呼びおこされる。農業者が畑を耕すことを止めた場合、我々はあらゆる問題を抱えることになる。

収穫祭に当たってこのことを思い起こす。収穫と播種は我々の意識の中で全てである。そのため、我々はコロナパンデミックの中でも、責任をもって経済を可能な限り維持することに、予め備える。”

2 連邦食料・農業省：家庭外での食事提供における食料廃棄物の削減 ーモデル経営では 25%の減少、将来的には半分化ー (2020・9・29)

連邦食料・農業大臣クレックナーがモデル経営を訪問し、食料廃棄物を 25% 減らすことを推進する。連邦大臣がドイツ連邦省の”救われた食料”の行動週間最終日の今日(9月29日)、ベルリン市内を訪れた。そこはこの行動の協力者である、ベルリンーブランデンブルグ・キリスト教会である。この教会はレストランの閉店時に、食品廃棄物の計量を実施した。それを通じてレストランは、自らの食料ゴミを減少させる成果を挙げた。

ユーリア クレックナー大臣：”投げ捨てられる食料を計量することは、食料の廃棄に対する効果的な手段である。なぜならば、人々はしばしばその量のイメージを、もっていないからである。人々は留意すべきである。このことを通じて人々は、重要な資源と価値多いものを、失うという意識を向上させる。このことは、家庭外の領域で決定的な伝達者である。自分の共同作業、顧客とのつながりにおいて、または社会の中で。

この成果は示している：”我々は1つの良き道にある。！このモデルを模範にこの対策を通じて、食品ゴミを 1/4 減少させる。”大臣は現地において”ゴミ容器に捨てるには早すぎる！”の 2021 年連邦賞コンクールを、スタートさせた。このコンクールでもって、全体的な食料供給チェーンに沿って、食料廃棄を削減する革新的な構想と行動を、社会的に評価する。

対話フォーラム：家庭外での食事提供

この対話フォーラムの目的は、食品廃棄物の効果的な削減手段を発展させること、拘束力のある目的協定の順守である。そのため、特に廃棄量計量の 12 のモデルを導入する。食品ゴミは貯蔵、生産そしてレストランで皿の返却時に発生する。様々な対策でもって、減少させるべきである。それによって平均約 25%の食品廃棄物減少を達成できる。

食料廃棄物削減のための国内戦略

食料廃棄物削減戦略でもって、2030年までに流通—消費者レベルで、食料供給チェーンに沿って一人当たりの食品ゴミを半分に減少する。その際、消費者と並んで生産、加工、流通の関係者、家庭外の食事提供者（レストランなど）が、責任を担う。様々な分野別の特別な対話フォーラムにおいて、対策が議論されそして対策が策定される。そしてそこで、各分野毎の目標協定が決定されるべきである。

3 エナジードリンクの青少年への健康上の影響をさらに研究促進

(2020・10・1)

政務次官ハンス—ヨアヒム—フオイヒテル（Hans-Joachim Fuchtel）：

“我々は隙間を埋めるための研究を促進する。つまり、慢性的、過剰にエナジードリンクを飲む青少年が、心臓血管疾患を引き起こすかどうか、研究が科学的な基礎を提供する。我々はこの隙間を埋め、そして同時にさらなる政策のための科学的基礎をつくりたい。”

連邦食料・農業省は、エナジードリンクの過大な消費との関連において、既に保護政策を実施している。

- 過度のエナジードリンク消費から防護するために、特定のエナジードリンクの中の使用物質（カフェイン、タウリンのような）の添加の最高限度量を規定している（フルーツジュース、清涼飲料、お茶）。
- 高度なカフェイン含有食品について、特別な表示規準（特に健康上傷つきやすい消費者グループ）が、食料品—情報規則（EU）NO1169/2011に規定された。
- この政策は連邦食料センター（BfE）の情報提供を通じて支援している。それは連邦省の所管業務の一部である。

4 高齢者の健全な栄養のための新ネットワークセンターの設立

—ザクセン—アンハルト州に 246000 ユーロ（約 2952 万円）の奨励— (2020・10・1)

連邦食料・農業大臣クレクナーは、新しいネットワークセンターの設立を奨励している。この取り組みの中心課題は、全州に高齢者の栄養のためのネットワークセンターの設立である。連邦省はザクセン—アンハルト州において、246 000 ユーロでもって奨励する。

クレックナー大臣は、今日（10月1日）ベルリンで、ザクセンアンハルト州に奨励決定を伝達した。このネットワークセンターは、仲介する知識を関係者に提供する。この活動の重点は以下の改善である：

- 一 高齢者を世話する家族とその周辺での責任ある介護のための栄養上の専門知識
- 一 高齢者施設における介護提供の質的向上と食事サービス
- 一 家または外来の居住共同体において自ら食事するか、または家族から世話される高齢者の介護状況の質的向上

クレックナー大臣：“栄養の専門知識は、生活の質的向上を創り出す。まさに高齢者にとっても。我々はネットワークセンターでもって、高齢者にとって特に必要なものを視野に入れている。なぜならば、高齢者グループにおいて食事は、社会的な参加について決定的な役割を果たす。知識の伝達とアドバイスは、食事の提供を改善するために、重要である。施設とそこでの近代的な食事提供に際して、我々は栄養に関するドイツ協会の規準を、広範に適用することを実現したい。”

背景：

高齢者の栄養団体の分野において、全ての州にネットワークセンターまたは、比較し得る施設が設立されるべきである。ここではアドバイスの提供、知識の伝達、関係者のネットワーク化、そしてその際連邦全体に高齢者ホームにおける健全な食事の提供、並びに栄養に関するドイツ栄養協会の品質基準の広範な適用を通じて、食事の改善を支援する。

さらにネットワークセンターは、高齢者の社会参加奨励のためにも貢献を果たす。このネットワークセンターの施設は、最初の5年間は連邦食料省と各州によって、毎年200万ユーロ（約2億4000万円）でもって奨励される。既に7つの州においてネットワークセンターが、活動を開始している。

幼稚園－学校給食の分野において、既に広範にこのようなネットワークセンターが、各州に存在している。この施設は健全な給食提供の実現に際して、幼稚園と学校を支援する。ここは給食のテーマに関する広範な情報を提供する。

助言のために伝達する専門知識と継続教育も実施している。そして資格をもった専門家が助言する。この施設のための財政的支援は、連邦大臣が就任後、倍化された。

5 連邦農業省：アフリカ豚コレラ（ASP）49頭目の発症を確認

(2020・10・3)

10月3日にブランデンブルグ州において、3頭の猪にASPが確認された。これは国内「問合わせ実験室」（フリードリッヒローエーフラー研究所併設）が立証した。これまで合計49頭に発症が確認された。このASPは人間に危険は無い。ドイツ国内の養豚には依然として、発症がみられない。今回の発見場所は、最初の発見地域内である。

背 景：

連邦農業省は、EU ー同盟、国際動物伝染病事務局（OIE）、そして貿易パートナーに対して、ドイツにおいて継続している新しいASP ー発症事例情報を提供した。2020年9月10日に最初の発症猪が発見された後、さらなる発症が見込まれている。このASPは、体液を通じて猪から猪に簡単に伝染される。

2020・9・14 訳

青森中央学院大学

中川 一徹